



第18回全日本高校模擬国連大会報告

9月の予選会を通過した全国84チームが11月16日(土)・17日(日)に東京渋谷区の国連大学に集結し、全国高校模擬国連大会が開催されました。予選には1校から2チームまでしか出場できないという規則があり、本校を含めた多くの学校で校内選考が実施されます。本校からは予選にエントリーした2チームが共に見事通過して本大会に臨みました。2議場に分かれて「若者と軍縮、不拡散と平和」という議題で熱い議論が交わされました。日本人の感覚では武力行使をすること・戦闘行為に関与することは当然あってはならないことという価値観が共有できると思いますが、紛争当事国からすると理想ばかり言っていられないという現実もあります。国際社会全体で合意を目指すのはかなりハードルの高い議題にどう取り組んだのでしょうか。アルゼンチン大使となった高校2年田村君・田口君、東ティモール大使となった高校1年佐藤君・佐本君から原稿を寄せてもらいましたのでご覧いただけますと幸いです。

アルゼンチン大使 高校2年 田村 悠貴・田口 尋一朗

今回第18回全日本高校模擬国連大会に参加させていただきました田村悠貴と田口尋一朗です。僕たちは目標としていた賞を受賞することはできず、自分たちの力不足を痛感する大会でした。これと同時にとても悔しい気持ちが残っています。しかし同時にこれまで模擬国連に参加して学べた多様な視点やコミュニケーションの仕方、そして模擬国連を通して築けたコミュニティは高校生活の宝であるとともにこれからの人生でも活かせるものです。私たちはこれで模擬国連はほぼ引退ですが、これからは後輩へ自分たちの経験を伝えていくとともに、大学受験やその後も模擬国連での経験を活用していきたいと思います。最後にこれまで模擬国連というすばらしい場、そして経験を築いてくれたすべての人に感謝申し上げます、本当にありがとうございました。

東ティモール大使 高校1年 佐藤 圭悟・佐本 一樹

この度第18回全日本高校模擬国連大会にて東ティモール大使を担当させて頂きました、佐藤圭悟と佐本一樹です。まず最初に、この場を借りて引率に来てくださったファース先生、岡崎先生、時には先輩として、時にはライバルとして互いに高めあうことができた田村さん、田口さんに感謝を申し上げます。今回の会議では非常に悔しい結果にはなりましたが、その分沢山の貴重な経験をさせていただくことができました。会議全体を通して、私達が気づかされたのは、その普段の練習会議とは比べ物にならないほどのレベルもそうですが、何よりも「大使としてのあるべき姿」です。実は、昨今、模擬国連は評価基準が細分化(周りを牽引できているかなど)されてきており、それに合わせ「競技性」「戦略性」(いかにして周りからの印象を下げずに周りから議論のイニシアティブを取るかなど)も強くなってきている現状があり、特に賞がかかっている当大会においては私たちを含め多くの大使が意識的にも無意識的にもそういった部分を考えていたように思います。ですが、今回の会議はそういった傾向から少し距離を置いているように感じ、むしろもっと模擬国連ないしは議論の本質的な部分に重きを置かれていたようにみえました。確かに前述した要素は模擬国連やその他多くの場面において自分の活躍を周りにアピールするためにとっても重要です。(そ

のために多くの場でそういう部分が評価されてきたのでしょうか)ですが議論の利益という観点においてはそれよりも「いかにして全員が納得できる折衷案を時間内に完成させるか」「いかにして周りが意見を投じやすい環境を作るか」などを考えている人の方が重要に思えますし、周りからの信頼も得やすくそれがまた議論に良い影響をもたらすでしょう。とりわけ模擬国連においては模擬している国連が本来、全ての国が一体となって世界に蔓延る問題を解決していくことが目的なわけですから尚更なのだと思います。私たちは今回の全日本大会を通して大使としてのあるべき姿や「リーダー」の在り方についてとても深く考えさせられました。そのため私たちはどうすればイニシアティブを取れ、周囲を牽引できるかではなくより本質的な「どういうリーダーが議論において必要とされているのか」について今一度考え直して、今後の模擬国連活動を大会で賞を取ることや議論中にイニシアティブを取ることのためではなく、国連を真の意味で「模擬」できるようになるために、議論やその他様々な場面においてただ人をまとめ上げるだけではなく本当に必要な人になるために行うようにし、自分達にとって有意義なものにしていきたいと思っています。



2日目会議前風景 アルゼンチン大使
Aチーム (高2 田村君・田口君)



東ティモール大使
Bチーム (高1 佐藤君・佐本君)



昼食休憩時間も議場に残り午後の準備に
明け暮れていました。



各国大使が着席した状態で政策を手短かに
説明していく風景。



各国大使が座席を離れて交渉する非公式討議風景。価値観を共有する国同士で集まり決議案作成に向けて細かい文言の調整などを行います。

顧問から見ると両チームとも議場内で議論を引っ張り、決議案作成にも積極的に関わっていましたが、残念ながら国際大会への切符を掴むには至りませんでした。両チームの努力が議場全体の議論の活性化に大きく貢献したことを讃えたいと思います。

Global Tech 自動運転ロボコンのお知らせ（現中2～高3対象 有料）

マサチューセッツ工科大学(MIT)協賛のイベント自動運転ロボコンの情報が入りましたので、パンフレットから概要をお知らせします。海外でギャップイヤーを利用して参加する生徒もいるとのことで、年度をまたぎますが日本の現在高校3年生も対象となります。

【自動運転ロボコンとは？】

- ・障害物のあるコースを自動走行する小型自動車を開発し、レースを行う大会です。
- ・レース前の約3ヶ月間、Pythonや画像認識等、自動運転に必要な知識を学習するのでプログラミング初心者でも参加できます。
- ・日本大会で優勝したチームはMITで開催される世界大会に出場します。



世界大会風景

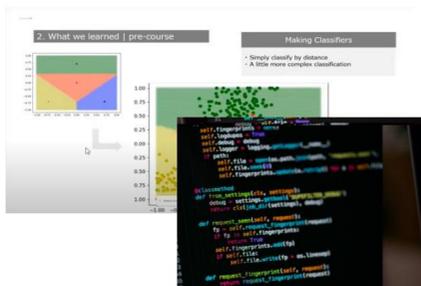
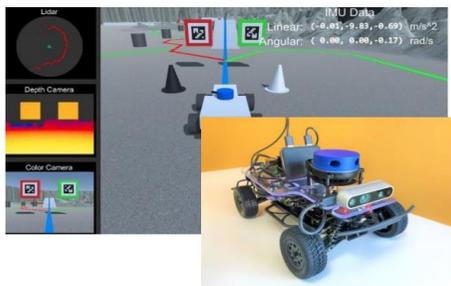
【学習内容】

自動運転車知識

- ・ Python を利用し、シミュレーションと実機で、小型車の自動走行を実施
- ・ ハードウェア(LiDARなど)を活用

Python

- ・ 科学技術分野を中心に広く使われている言語を学習
- ・ Python の基本的「文法」から、難易度が高い「画像認識」まで、自動走行で必要になる要素を、自分の手を動かしてプログラムできるように学習します。



【本大会の流れについて】

約3ヶ月で自動運転車を作成し、日本大会に出場。日本大会の優勝チームは世界大会に参加します。

①スクール

2月～5月 土曜日*

- ・ Python の基礎知識から自動運転に必要な画像認識等の内容まで学習
- ・ 講座時間は3時間/回 (14:00～17:00)

日程：2月1日・8日・15日・22日 3月8日・15日・22日・29日
4月5日・12日・19日・26日 5月10日・17日

②日本大会

6月15日(日)

- ・ チームで作ったマシン・プログラムを使用してレースを走行
- ・ レース結果を基に、優勝者を決定

③世界大会

7月28日(月)～8月3日(日)

- ・ 国内大会優勝チームが参加
- ・ 世界大会のコースに合わせた調整を実施
- ・ 最終日に、他国の高校生と共にレースを走行

【募集要項】

	内 容	備 考
対象	現中2～高3	<ul style="list-style-type: none"> ・1名から参加可能 ・3、4名程度のチーム参加を推奨
参加費用	3・3万円/人 (税込)	<ul style="list-style-type: none"> ・スクール費用と国内大会の参加費用を含む ・別途チームでマシン1台(約18万円*1)を負担
優勝賞品	世界大会参加 100万円*2	<ul style="list-style-type: none"> ・MIT開催の世界大会にチームで参加 ・大会参加者全員に大会Tシャツプレゼント

*1 昨年度の実績値。為替及び販売状況によって変動するため2025年2月中に案内予定

*2 優勝賞金はMITへの渡航費や宿泊費に充当

【申込方法】

以下の2つのステップで申込完了

①公式LINEに参加

- ・公式LINEで最新の大会情報を入手



LINEに
参加!

- ・過去に開催したコースの様子や、大会の様子をご紹介
- ・コンテンツはそれぞれ1度のみ配信。有益な情報を見逃さないように早めの登録を推奨!

②フォームからエントリー

- ・公式LINEで送られるリンクから、必要な情報を記入しエントリー



- ・1月24日(金)を過ぎるとエントリーできません。申込人数が一定数を越えた場合、予告なく締め切る場合がございます。ご了承下さい

生徒からの疑問点はLINE上から応募できる説明会で尋ねることができるそうです。

参考ウェブサイト

イベント主催団体(株)一矢のウェブサイトでは今夏の大会の様子が掲載されています。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000030.000060598.html>

今回の募集に関するチラシを差し上げますので興味のある生徒はグローバル教育部(2号館2階)までどうぞ。

グローバル教育部から参加を検討する生徒諸君へ

今回ご紹介したイベントは約3ヶ月に渡る事前学習への参加が前提となります。費用も発生しますので参加に当たっては、時間の捻出や他の勉強との調整などを慎重に考慮して下さい。

- ・3学期期末考査・1学期中間考査期間とも重なるため試験勉強と両立できるか。
- ・部活動をしている生徒諸君は春休みや学期中の活動日程との調整が可能か。
- ・事前学習は原則対面で実施されます。場所は現段階では未定です。土曜日の午後の時間を空けられるか。

ついネガティブなことを書き連ねてしまいましたが、後悔しないためにも自分なりに色々な可能性を想定してみて、これなら何とかできそうだと思えたら申込手续に入して下さい。

トビタテ！留学 JAPAN2025 年度新日本代表プログラム募集のお知らせ

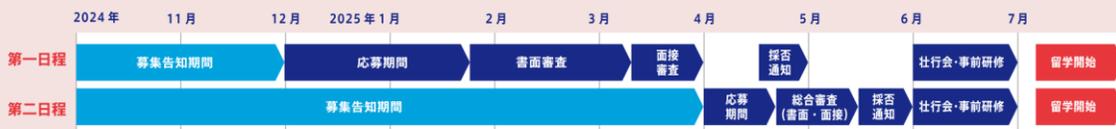
(現中3～高2対象)

官民協働海外留学支援制度であるトビタテ！留学 JAPAN の第10期の募集がいよいよ始まりました。この制度は内向き志向になりがちと言われる現代の若者の視野を広げるべく、海外での学びを支援するという趣旨で始まったものです。単なる物見遊山の海外旅行は対象外で、何らかの学び・探究活動が含まれていることが必須です。訪問する国やプランは自由に組み立てることができ、期間も短期（14日）から長期（1年）と自由度が高くなっています。詳細は以下の URL から公式ホームページをご確認下さい。募集要項もご覧になれます。

<https://tobitate-mext.jasso.go.jp/newprogram/hs/>

以下ホームページより主なポイントのみご紹介いたします。

第10期 応募・選考スケジュール



※新高校2・3年生は第一日程に応募してください。新高校1年生は第一日程又は第二日程にいずれかで応募してください。
※在籍校ごとに提出期限がある可能性があります。早めにご確認ください。

第1日程：2024年12月2日（月）～2025年1月23日（木）

第2日程：2025年4月1日（火）～4月21日（月）

留学計画の内容に沿って、以下の4つのコースから選んで応募しましょう。

マイ好奇心探究コース

(250名)

「知りたい」、「明らかにしたい」という自らの興味・関心に基づいた問いを設定し、「未知を既知」にすることや「疑問を解明」することを目的に行う探究活動が含まれた留学計画。

社会課題探究コース

(150名)

世界・日本・地域が抱える社会課題を自分ごととして考えた問いを設定し、課題解決や活性化、SDGs、社会貢献に寄与することを目的に行う探究活動が含まれた留学計画。

STEAM探究コース

(160名)

STEAM（科学・技術・工学・芸術・数学）領域における問いを設定した探究活動を含む留学計画や、問いに対してAIやIoT、理科の見方・考え方や数学的な見方・考え方を活用しながら行う探究活動が含まれた留学計画。

スポーツ・芸術探究コース

(140名)

実技経験や実績の有無にかかわらず、スポーツ・芸術分野における問いを設定し、当該分野の更なる発展に寄与することを目的に行う探究活動が含まれた留学計画。

グローバル教育部より制度の利用を検討している生徒諸君へ

- 留学団体が企画する既存のプログラムの活用を考える場合には当該プログラムがトビタテの支援対象になるかを事前によく確認して下さい。
- 応募に当たっては各自の探究活動など留学の目的を詳細に入力することが求められます。更に、事前研修の参加、帰国後には留学成果を対外的に発表する活動に参加することが求められます。そのような時間を捻出できるかもよく確認して下さい。
- 手続きは全て学校を通じて行うことになっているため、親御さんの収入状況をお伺いするために役所が発行する納税証明書のご提出をお願いしなければなりません。管理は校内できちんとして外部への流出はないように徹底致しますが、手続き上個人情報をご提出いただくことを予めご了承下さい。
- 前年度の経験からすると手続き完了までにはかなりの時間を要しました。利用を検討する生徒諸君は早めにグローバル教育部（2号館2階）まで相談に来て下さい。期末考査後は会議で席を外していることも多く、行き違いを防ぐ意味でもまずはアポ取りをすることをお勧めします。

IELTS オンライン説明会のご紹介（高1～高3対象 無料）

海外大学や国内大学の国際系学部などの受験を検討している生徒諸君は自身の英語力を客観的に証明するために国際的に通用する検定試験のスコア提出を求められます。典型的には TOEFL や IELTS のスコアが利用されます。IELTS について冬休み中に実施される無料のオンライン説明会の情報が届きましたので、関心のある生徒諸君はご利用下さい。費用は無料ですが、事前登録が必要になります。申し込みは各自でお願いします。



アイエルツ
「留学のIELTS」から
「大学進学」のIELTS」へ

高校生対象 IELTSオンライン説明会
～高校生がIELTSを受験するメリット～

2024年12月26日(木)
15:00～16:00

【セミナー内容】

- ・ IELTS試験概要
- ・ なぜ大学進学にIELTSなのか
- ・ IELTS試験対策アドバイス
- ・ JSAF-IELTS受験特典（高校生応援動画など）
- ・ 2025年IELTS体験イベントのご案内など

【参加方法】

参加は無料ですが、事前予約制です。下記QRコードを読み取りまたはクリックでご予約ください。前日までにオンライン入室情報を送ります。

参加者の皆さんには【IELTS Support Tool】および【IELTS Preparation Guide】をプレゼント♪

【問い合わせ】

一般財団法人日本スタディ・アブロード・ファンデーション（JSAF/ジェイサフ）
IELTS公式テストセンター 東京（JP112） 大阪（JP114）
〒150-0075 東京都渋谷区道玄坂4-15-1 大塚ビル南館5階（JP） TEL: 03-6273-0356
〒553-0033 大阪府大阪市東淀川区東5丁目1-1 新村南館5F TEL: 06-6442-1106
Eメール 英語 jsaf-ielts@japanstudyabroad.org

JSAF IELTS 

<https://jsaf-ieltsjapan.com> 

12月11日時点では JSAF の公式ホームページ上に左記のイベント情報が反映されていないようです。参加希望の場合は左の QR コードより事前登録をお願いします。